



第1分科会

基調講演とパネルディスカッション

会場:ロームシアター京都
メインホール
サウスホール※映像配信

(テーマ) <よくできる>とはどういうことか?

—大学は、自分の可能性を見つける場である。

(趣 旨) 日本の生徒は、諸外国の生徒に比べて、「自分は人並みの能力がある」という自尊心や自己肯定感を持つ割合が低く、自らの参加により社会をよりよく変えることができるという意識も低い傾向があります。これからの社会では、十分な知識・技能をもち、それを活用する思考力・判断力・表現力を臨機応変に発揮し、主体性をもって多様な人々と協力して学び、働く力、つまり「たのもしさ」を身につけることが求められています。

永田和宏氏の著書の「知の体力」には、「答えは必ずある」などと思てはいけません。「勉強」で染みついた呪縛を解くことが、「知の体力」に目覚める第一歩となる。」とあります。

生徒たちがこれからの社会を生きていくにあたり、一人一人が学び合い、自らの知識を深め、自尊心や自分の可能性を伸ばすためには、全国各地の高校で、家庭で、そして大学で何をどう学んでいくことが一番大切であるのかについて、永田氏の講演とその後のディスカッションを通じて、改めて考える機会になればと考えます。

(内 容) 基調講演 パネルディスカッション

(講 師) 永田和宏氏

(京都産業大学学長特命補佐。総合生命科学部教授。タンパク質動態研究所所長。京都大学名誉教授。宮中歌会始詠進歌選者。紫綬褒章受賞。ハンス・ノイラート科学賞受賞。)

(パネリスト) 永田和宏氏, P T A(保護者) 2～3名, 校長 1～2名

(コーディネーター) 未定

第2分科会

小グループの意見交換会

会場:みやこめっせ 地階
日図デザイン博物館
第1展示場 A面※2会場で実施

(テーマ) 子どもたちを育む環境づくり

(サブテーマ) 地域社会の現状と次世代を見据えて

(趣 旨) 子どもたちの支援には、学校・家庭・地域社会が目標を共有して連携・協働することが大切なこととされています。この分科会では、連携・協働を目指すために、これまでの子育てを振り返って、子どもとぶつかったり感謝したりしたことについて意見交換をするとともに、地域の中で子どもを育てる上で、子どもとどのように向き合えば良いかを話し合います。

意見交換しやすいグループ人数としたりアンケート用紙を活用することで、全国から御参加いただく多くのPTA会員の方々と、和気藹々と意見交換をしたいと思います。

(内 容) 6人程度のグループで意見交換会(京・みやこカフェ)を行います。

グループの構成メンバーは、分科会途中でシャッフルし、参加者のみなさんが、1人でも多くの方と交流できるようにします。

(ファシリテーター) 京都府立高等学校PTA連合会口丹ブロック



第3分科会

基調講演とパネルディスカッション

会場:みやこめっせ 1階
第2展示場 A面・B面

(テーマ) **すぐその未来のしごと**

(サブテーマ) **ともに考える Society 5.0 において求められる人材像、学びの在り方**

(趣 旨) 今、「超スマート社会」とも言われる Society 5.0 が訪れようとしています。人工知能(AI)、ビックデータ、Internet of Things(IoT)、ロボティクス等の先端技術が高度化し、あらゆる産業や社会生活に取り入れられ、私たちの生活は劇的に便利で快適なものになっていくと言われています。一方で、このような人類がこれまで経験したことのない急激な変化を前に、漠然とした不安の声も多いのではないのでしょうか。人間としての強みはどこにあるか。学びや仕事にどのように向き合っていけばよいのでしょうか。必要なことは、どのような時代が訪れるのかを知り、今打てる手は何かを考えることではないのでしょうか。子どもの就きたい仕事について各家庭で話し合いができるよう、この分科会で未来の仕事を考えます。

(内 容) 基調講演 パネルディスカッション
参加者対象にクラウドサービスによるアンケートを実施(ディスカッションで活用)

(講 師) 片岡 宏二 氏(株式会社片岡製作所 代表取締役社長)
加藤 理啓 氏(Classi株式会社 代表取締役副社長)

(パネリスト) 片岡 宏二 氏(株式会社片岡製作所 代表取締役社長)
加藤 理啓 氏(Classi株式会社 代表取締役副社長)

(コーディネーター) 中山 芳一 氏(岡山大学全学教育・学生支援機構 准教授)

第4分科会

基調講演とパネルディスカッション

会場:みやこめっせ 3階
第3展示場 A面

(テーマ) **高校生の人間関係について考える**

(サブテーマ) **高校生の本音を聞いてみませんか?**

(趣 旨) 現代の高校生は、親や教師だけでなく友達にさえ本音を言わないといわれています。講師の原清治氏は、毎年、定期的に多くの高校で生徒と対話するアクティブな講演会を行い、ネット社会を生きる現代の高校生を「定点観測」されています。また、豊富な調査事例に基づき、ネットいじめを初めとする学校が抱える諸問題にも造詣が深い。そんな原先生に、さまざまなデータから見えてくる「現代の高校生の人間関係」についての基調講演をしていただきます。後半は、原先生をコーディネーターとして、前年度まで高校生であった若者5人ほどをパネリストに招き、「卒業したからこそ言える」「親にこんなことをしてほしかった」「先生にこんなことをしてほしかった」といった本音を聞き出します。現役の高校生の保護者が、現代の高校生の本音を知ることを通して、家庭での子どもとの関わりを考えます。

(内 容) 基調講演 パネルディスカッション

(講 師) 原 清治 氏(佛科大学副学長)
(専門は、学力問題、学校病理、若年就労問題 など)

(コーディネーター) 原 清治 氏(佛科大学副学長)

(パネリスト) 平成30年度卒業生 寺田 創さん(東宇治高校)、谷川 天音さん(城南菱創高校)
小倉 達矢さん(城陽高校)、齋藤 桃子さん(西城陽高校)、妙田 茉優さん(久御山高校)



第5分科会

講演とワークショップ

会場:みやこめっせ 1階
第2展示場 C面・D面

(テーマ) 情報教育を体験する

(サブテーマ) 現代の子どもが学ぶ情報教育を体験してみませんか？

(趣 旨) いわゆる情報モラル教育(講座)が行われるようになってから10数年が経ち、2020年からは義務教育においてプログラミング教育が必修化されます。この分科会では、情報モラルやプログラミング教育など児童生徒向けの授業を体験することができます。SNSに関するトラブルの予防や対策や、"プログラミング的思考"を子どもがどのように学んでいるか、楽しみながら考える内容になっています。更に、その学びを生かして、災害時におけるSNSの活用方法をどうすべきなのか?を会場全体で考えるパートを最後に用意しました。SNSの特性を知るだけでなく、どう活用すればよいか。学校や家庭での利活用を考えるきっかけとしていただければ幸いです。

(内 容) 講演、ワークショップ

(講 師) LINE株式会社社員、LINEオフィシャルインストラクター

第6分科会

講演

会場:みやこめっせ 3階
第3展示場 B面

(テーマ) 我が子の進路選択にどう向き合う？

(サブテーマ) ～入試が変わる、授業が変わる…動き出した教育改革～

(趣 旨) 変化が激しく、先行きが不透明で予測することが困難な時代と言われる、これからの社会。今の子どもたちにはこの新しい時代を生き抜く力が求められています。この「教育改革」は未来社会を担う子どもたちのため。だからこそ、大学入試や高校や大学の授業も大きく変わり始めています。そこではいったい何が問われているのでしょうか。
また、保護者の皆さんが我が子の進路選択に、どう向き合えばいいのでしょうか。自立に向けた関わり方や「主体性」の育成といったテーマを通じて、教育改革の狙いを理解しながら、その本質を一緒に考えていきます。どんな社会が訪れても、子どもたちが20年後の社会を生き抜く人材となるために。

(内 容) 講演

(登壇者) 山下 真司 氏(株式会社リクルートマーケティングパートナーズ 「キャリアガイダンス」編集長)
石田 勝紀 氏(一般社団法人教育デザインラボ代表理事)
池田 脩太郎 氏(株式会社リクルートマーケティングパートナーズ まなび事業本部)